

全1人区で**統一**が視野に

参院選目前

政治変えるチャンス



奈良で野党統一 4野党と前川きよし(5月16日)。写真は参院選必勝を誓いあう前川氏(左から4人目)と野党、市民団体の代表ら(奈良民報社提供)

参院選に向け、安保法制廃止、立憲主義回復で一致した野党(共産、民進、社民、生活)の統一候補の擁立が32の1人区のうち29まで実現しました。残りは3選挙区(19日現在)となり、全1人区での統一が見えてきま

した。

4野党は最後の一つまで一本化へ努力しています。

選挙の対決構図は「自公+補完勢力=おおさか維新VS野党+市民」。与野党逆転、政治を変える絶好のチャンスです。

衆院選も「できる限り協力」

共産、民進、社民、生活の4野党の書記局長、幹事長は、解散・総選挙に備え、衆院選でも4党が「できる限り協力」するために模索と努力を行うことを確認

4野党首会談「具体化加速」

(13日)、4野党党首会談では具体化を加速することを確認しました(19日)。党首会談では、来年4月からの消費税10%引き上げ反対なども合意しました。

折り目

前向きの一歩を核廃絶へ

オバマ米大統領
広島を訪問



米の核政策 真剣な再検討を 被爆国政府にふさわしい態度を

国際交渉に「背」改めよ

オバマ米大統領が、原爆を投下した米国の現職大統領として初めて被爆地・広島を訪問することになりました。重要な前向きの一歩であると同時に、被爆地・被爆者の願いに応えた行動です。

この一歩を「核兵器のない世界」の実現につなげるには、米国が核兵器禁止条約の国際交渉開始を求める世界の願いに背を向けてきた、これまでの態度を改めることがどうしても必要です。

恥すべき日本政府の姿勢

日本政府は、国連総会で圧倒的多数の賛成で採択されている「核兵器禁止の国際交渉開始を求める決議案」に対して、1996年に初めて提案されてから、昨年まで20年連続で棄権しています。

日本共産党は、世界の大勢に背を向け、被爆国の政府として恥すべき姿勢を根本的に改めることを求めます。

日本共産党

熊本地震

救援募金にご協力を お願いします

近畿民報

2016年5月 No.2(第234号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール: jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。